

平成30年度教育研究活動報告書

| | | | |
|------|------|----|--------------|
| 氏名 | 平山直樹 | 所属 | 芸術文化学部日本文学学科 |
| 学位 | 博士 | 職位 | 准教授 |
| 専門分野 | | | |

I 教育活動

| | |
|---------|--|
| 本年度担当科目 | |
| | 授業科目 |
| 学部 | TOEIC I、TOEIC II、応用英語 I、応用英語 II、上級英語 I、上級英語 II |
| 大学院 | 英語学特論 |

II 研究活動

現在の研究テーマ（3つまで）

(1) 『パストン家書簡集』における英語の歴史的研究

本年度を含む過去3年間の研究業績 H30・H29・H28（件数は追加可）

H30 〈学会発表〉 Complex Sentences in the *Paston Letters*, PALA (Poetics And Linguistics Association) 2018, University of Birmingham, 2018年7月28日.

〈論文〉 “Modal Auxiliaries of Obligation in the *Paston Letters*: With Special Reference to *shall*,” *The Pleasure of English Language and Literature: A Festschrift for Akiyuki Jimura*, Edited by Hideshi Ohno, Kazuho Mizuno, and Osamu Imahayashi, pp. 47-62, Keisuisha, 2018年12月. (単著、査読無し)

H29 〈論文〉 “*Think and Trow in the Paston Letters*,” *Studies in Middle and Modern English: Synchronic Aspects: Historical Variation*, pp. 71-89, Kaitakusha, 2017年6月30日. (単著、査読無し)

H28 〈論文〉 「『パストン家書簡集』における*since*」、『中尾佳行先生御退職記念 言葉で広がる知性と感性の世界—英語・英語教育の新天地を探る—』、pp. 141-154、溪水社、2016年5月20日. (単著、査読無し)

〈学会発表〉 「『パストン家書簡集』における義務の法助動詞—*shall*を中心に—」、日本英文学会中国四国支部第69回大会、於 愛媛大学、2016年10月29日.

H27以前の主な研究業績（件数は追加可）

(1) 〈論文〉 「『パストン家書簡集』における*please*」、谷明信・尾崎久男編『15世紀の英語—文法からテキストへ—』、pp. 41-59、大阪洋書、2013年3月29日. (単著、査読無し)

(2) 〈論文〉 「『パストン家書簡集』におけるME THINKS」、尾道市立大学日本文学論叢第8号、pp. (1)-(18)、2012年12月. (単著、査読無し)

(3) 〈論文〉 「名詞節を導く*that*の省略について—『パストン家書簡集』におけるTHINK—『英語教育への新たな挑戦—英語教育内容学の視点から—』、pp. 205-17、英宝社、2010年7月. (単著、査読無し)

(4) 〈論文〉 “Epistemic Adverbs in the *Paston Letters*,” *English Philology and Stylistics: A Festschrift for Professor Toshiro Tanaka*, Edited by Osamu Imahayashi and Hiroji Fukumoto, pp. 59-71, 溪水社, 2004年12月. (単著、査読無し)

(5) 〈論文〉 “The Language of Requests in the *Paston Letters*: The Grammaticalization and Subjectification of X PRAY Y,” 広島大学英文学会『英語英文学研究』第46巻, pp. 25-43, 2002年3月. (単著、査読有り)

学会、所属団体における活動（本年度を含む過去3年間の研究業績） H28・H29・H30

所属学会・所属団体 役職等と任期

日本英文学会、日本英文学会中国四国支部（編集補助：2013年4月1日～2016年3月31日）、日本中世英語英文学会（研究助成委員：2017年4月1日～2019年3月31日、2018年4月1日～2019年3月31日は委員長）、日本中世英語英文学会西支部、近代英語協会（事務局長：2015年10月1日～2019年9月30日）、英語史研究会、英語コーパス学会、山口大学英語教育研究会（編集委員）、尾道市立大学日本文学会

IV 社会活動

1. 学外活動（本年度1年間の活動状況）（件数は追加可）

（NGO・NPO活動、国際交流・協力活動、ボランティア活動等その他特記事項があれば記入）
尾道市内で開催された「第18回 外国人による日本語スピーチ大会&交流会（2018年10月14日）」に参加してスピーチを拝聴し、その後の交流会で、尾道市に住んでいる外国人との交流を行った。また、大学内で開催された4月の留学生交流会や12月の留学生報告会などで、地元町内会等の方や国際交流関係団体と交流した。